

平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人白ゆり会

1. 活動の成果

平成 30 年度は、就労前準備訓練、社会体験プログラム、余暇支援プログラム等で就労継続支援の周辺課題に取り組みつつ、様々なニーズに対応できる体制を構築しました。

また今後の事業展開を見据えた人材育成を目的とした資格の取得や、研修、講習会等研鑽に励みました。

2. 特定非営利活動にかかる事業

障害福祉サービス

◆ワークステップかりん（就労継続支援 B 型事業）

ワークステップかりんでは、個別支援計画に基づいてひとりひとりの利用者のニーズに対応できるように努めました。また、ケース会議を定期開催し、より一層共通認識をもって支援にあたることを目指しました。

定員数は 36 名（内、従たる事業所 10 名）で、延利用者数は 7,356 名（一日平均 29.8 名）でした。

(1) 作業支援

- 作業支援の充実を図るため、ボランティアに参加していただきました。
(延 94 時間)
- 職場実習先を通勤訓練も含めた実習として活用しました。
- 職場実習先を就労へのステップアップとして活用し、1 名の方が一般就労に結びつきました。
- 年間 20 回のバザー販売に参加し、飲食関連の販売にも力を入れるなど、売上向上に努めました。また 4 か所に販売委託をし、売上向上を目指しました。

(2) 日中活動支援

- お菓子作り、健康・運動プログラムの他、施設内外でのさまざまな日中活動の提供ができました。(年間 51 回、延人数 507 名)
- バトミントン・卓球・グランドゴルフ・ソフトボールなど運動プログラムを提供し、作業の息抜きや、健康づくりの機会としました。
- 買い物体験、お弁当作り、お菓子作りや、カレンダーづくり、手芸など、生活力向上に重点を置いた支援に取り組みました。

(3) 就労支援 …… 就労支援事業

- ・ ジョブコーチ 2 名体制により、法人内のみならず地域の障害当事者にも、より幅広く支援を行いました。
- ・ 北播磨自立支援協議会の就労支援部会や、西脇市就労系事業所連絡会、多可町しごと部会、兵庫障害者職業センターのジョブコーチ支援推進協議会といった就労支援に係る会議に積極的に参加しました。
- ・ 就労支援に関する延支援回数は年間 300 回でした。
- ・ 職業評価（兵庫障害者職業センター）を積極的に活用しました。（年間 1 名）
- ・ ハローワーク登録、求人閲覧、職業評価振り返りなどに同行し、支援を行いました。（実人数 4 名）
- ・ 就労セミナーなどの機会に利用者と共に参加しました。
- ・ 就労希望の 12 名の利用者に企業実習を実施した結果、内 1 名が一般就労につながり、現在も 1 名がジョブコーチ支援を継続中です。
- ・ ジョブコーチ制度の利用者向けに OB 会を開催し、余暇活動の機会と情報共有の場を提供しました。

地域生活支援事業

◆地域活動支援センターなかよし工房

精神障害のある方々を中心に生活リズムを整えること、共同作業を通じて仲間づくりをすること、交流、創作活動等を通じて、地域で生活していくための力を身につけていくことを柱としました。

定員数は 20 名で、延利用者数は 1,456 名でした。

- ・ 他の事業所の喫茶に積極的に参加し、地域の方との交流の機会を重ねました。
- ・ プログラムにボランティアの方が一緒に参加し、利用者の方に寄り添う機会を持っていただきました。（延 257.5 時間）
- ・ 就労系の事業所へのステップアップにおいて、専門の相談員を介することでスムーズに移行することができました。

◆西脇市障害者相談支援センターういーぶねっと

◆相談支援事業所ワークステップかりん

市町及び各関係機関や関連事業所等と連携をとり、必要に応じてサービス等利用計画の作成に努めました。

- ・ 基本相談支援延件数は西脇市： 3,644 件でした。（多可町： 137 件）
- ・ サービス等利用計画の策定件数は西脇市： 121 件、多可町： 10 件でした。
- ・ モニタリング件数は西脇市： 166 件、多可町： 28 件でした。
- ・ 西脇市から平成 30 年度 西脇市障害支援区分認定調査業務の委託を受け 31 件の調査をしました。

- 「ましゅぽかーWest」（保護者会）や「しえあ」（当事者会）といったセルフヘルプグループの活動のサポートをしました。
- 西脇市障害者地域支援協議会に参画し、事務局を補佐する立場として活動しました。

精神障害者の自立支援事業

- ◆ なかよし工房が多可町デイケア事業の委託を受け、「やすらぎのつどい」を年間 26 回（延参加者数 85 名）、「やすらぎ café」を年間 12 回（延参加者数 57 名）を実施しました。

精神保健福祉等の啓発事業

- ◆ 相談支援センターが実施する啓発講演会「知ることから はじまる まちづくり ～盲ろうって何だろう？～」に法人全体で取り組みました。
- ◆ 「イエローレシートキャンペーン」への参加
 - 毎月 11 日にイオン社店で、イエローレシートを集めるための呼びかけに参加して、多くの温かいご厚意をいただきました。また、マックスバリュ寺内店にはレシートの投函ボックスを設置していただきました。
 - 寄付金額は、イオン社店： 25,400 円、マックスバリュ寺内店： 7,500 円でした。
- ◆ 広報誌の発行、ホームページからの情報発信
 - 白ゆり会通信や月間予定表、メンバー新聞を毎月 1 回発行して、近隣にポスティングするとともに関係機関に送付しました。
また、ホームページの更新やブログでの活動報告によって、幅広く活動内容を伝えることに努めました。
インターネットでの情報発信をより効果的に行うため、近隣の事業所とのリンクやお便り、パンフレットなどで啓発を充実させて、多くの方の目に留まるよう努めました。
- ◆ 平成 30 年度も「白ゆり会まつり」を開催しました。
- ◆ 西脇高校において、当事者による疾病の体験発表などを行いました。

法人理事会

前年度に引き続き助言・指導を行い、ともにサービス向上を目指しました。職員に対して、様々な機会を利用してスキルアップを目指すよう支援した結果、今年度も職員が意欲的に多くの研修会、講演会に参加して研鑽に励みました。

職員会

休日や夜間においても研修会や勉強会に参加してスキルアップを目指しました。職員会議はできる限り月に1度実施し、職員各々が重要事項を共通認識して事業全体を見る機会を持ちました。

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

① 通常総会（1回開催）

平成30年5月31日 出席者：34名（うち委任状8名）

② 理事会（5回開催）

平成30年5月17日

平成27年度決算・事業報告、平成28年度予算・事業計画、総会打合せ他

平成30年8月10日

工賃変動積立金の取り崩し、給与規定の改定、事業実施体制について

平成30年12月1日

状況報告、工賃変動積立金の取り崩し、事業実施体制について、多可町拠点に関して

平成31年1月16日

状況報告、事業実施体制について、多可町拠点に関して

平成31年3月20日

状況報告、事業実施体制について、多可町拠点に関して

③ 職員会議・研修（12回、1回）

平成30年4月27日

【職員会議】 予定確認、バザー打合せ、総会打合せ

平成30年5月10日

【職員研修】 視覚障害のある方に対する支援について

平成30年5月25日

【職員会議】 予定確認、総会打合せ

平成30年6月29日

【職員会議】 予定確認、就労定着支援事業の検討、研修の提案

平成30年7月27日

【職員会議】 予定確認、工賃変動積立金について等

【職員研修】 生活保護について

平成 30 年 8 月 24 日

【職員会議】 予定確認、バザー打合せ等

平成 30 年 9 月 21 日

【職員会議】 バザー等イベント打合せ、白ゆり会まつり打合せ

平成 30 年 10 月 26 日

【職員会議】 バザー等イベント打合せ、白ゆり会まつり打合せ

平成 30 年 11 月 22 日

【職員会議】 いきいきふれ愛まつり他、バザー打合せ、白ゆり会まつり打合せ

平成 30 年 12 月 20 日

【職員会議】 予定確認、新年会打合せ、理事会報告

平成 31 年 1 月 25 日

【職員会議】 予定確認、4 月以降の体制について、理事会報告

平成 31 年 2 月 22 日

【職員会議】 予定確認、4 月以降の体制について、研修参加の打合せ

平成 31 年 3 月 29 日

【職員会議】 予定確認、4 月以降の体制について

(2) 事務局体制

事務局長 森秀樹

会計担当 古跡未佳

(3) 会員

平成 31 年 3 月 31 日現在

正会員 36 名

賛助会員 個人 27 人

団体 9 団体

(4) ボランティア

作業ボランティア 延 80.5 時間

地活プログラムボランティア 延 229.5 時間

行事ボランティア 延 41.5 時間